



永平寺町

第30号

平成25年4月19日発行

# 議会だより



子育てと学校給食 ②ページ

まちを育てる道路整備 ③ページ

そこが聞きたい! (議員16人が一般質問) ⑬ページ

浄法寺山岳観光協会の皆さん

永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

永平寺町議会  
facebook



# まちを育てる道路整備



**機能補償道路**  
25年6月供用予定

**中部縦貫道路**  
(福井北IC～松岡IC)  
26年度供用予定

**中部縦貫道路**  
(永平寺IC～上志比IC)  
28年度供用目標

## 中部縦貫道路及び機能補償道路の経緯

渋滞緩和のため、一般国道416号バイパス計画を昭和48年に事業化し、昭和60年に牧福島～市荒川間、62年に国道8号線新保交差点～福井北IC間が完成しました。昭和62年の国の四全総によって高規格幹線道路網に、一般国道158号の自動車専用道路として中部縦貫自動車道が組み入れられ、そのルートは一般国道416号バイパス計画と並行した形で決定されました。このため生活道路の確保と、中部縦貫自動車道の資材搬入道路と機能補償道路が平成6年より着手し、用地交渉難航のなか整備してきました。中部縦貫道路は平成元年から今日まで幾多の難関を経て難航していた用地買収もおおむね完了し、福井北IC～大野IC間を平成28年度末の開通を目標に工事を進めています。又機能補償道路も平成25年には開通の予定となっています。

永平寺町を東西南北に渡って生活幹線道路6路線が整備され生活様式も大きく変わる事が想定されます。永平寺町には松岡地区、永平寺地区、上志比地区の3地区それぞれ



に恵まれた自然環境と、名所旧跡が数多くあります。永平寺町では、永平寺町総合振興計画に基づき3地区それぞれに地理的条件を最大限に活かす町づくりを目指しています。道路網の整備が進む中、全ての町民が自らの意思で自らの責任のもと、自分達の町づくりを「議会と語るう会」の中で意見交換し、町政に反映していきたいと思っております。多数の参加をお持ちしています。

**子育ての町やん**  
この三月議会では、町長の重点施策として、子どもの健全成長と保護者の負担軽減、そして、若者の定住促進を目的として学校給食の無償化が打ち出され、新年度からの実施が決まりました。

これまでも、本町では、中学3年生までの小・中学校では、今や当たり前のように給食が存在します。本町の学校給食については、一食250円～300円の負担で、専門家による栄養バランスが考えられている給食に大変満足もし、子どもからもおいしいという評判です。

**〈付帯決議を出しました〉**  
しかし、給食の現場では、苦勞している面も多々あり、問題点も指摘されています。例えば調理員の配置では、正規職員が少なく、人数も現実には不足感が有ると聞きます。設備面でも衛生のことも含めてまだまだ不十分です。最近では、食物アレルギーへの対応が要求されています。教育長は、「責任を持って対応します。」と議会で表明していますが、生命に関わることであり、現場も神経質にならざるをえません。保護者との連携や学校あげでの取り組みが不可欠です。

議会では、学校給食無償化の制度を永く続けていくためにも、無償化が将来の町財政におよぼす影響が懸念されるため、毎年その影響、効果、問題点を検証し、財政の健全化の維持に努めることを付帯決議という形で強く求めました。(※付帯決議については8P参照)

また、給食会計を公会計に移行すること、町内同一内容給食の提供や食材購入の一元化など課題が示されています。

私も議会の様々な心配・要求に町は前向きな姿勢を示していますが、引き続き注視していきます。

## 新年度から学校給食無償化へ



子育てと学校給食

教育民生常任委員会

### 第3回定例議会議案

議案第3号 平成24年度一般会計補正予算	可決	議案第17号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	可決
議案第4号 平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第18号 道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について	可決
議案第5号 平成24年度介護保険特別会計補正予算	可決	議案第19号 都市公園の設置基準等を定める条例の制定について	可決
議案第6号 平成24年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第20号 指定管理者の指定について	可決
議案第7号 平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第21号 福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について	可決
議案第8号 平成25年度一般会計予算	可決	議案第22号 指定管理者の指定について	可決
発議第1号 議会第8号平成25年度一般会計予算に対する附帯決議の提出について	可決	議案第23号 松岡中学校普通教棟耐震補強工事の請負契約締結について	可決
議案第9号 平成25年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	議案第24号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第10号 平成25年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	議案第25号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第11号 平成25年度介護保険特別会計予算	可決	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第12号 平成25年度下水道事業特別会計予算	可決	平成24年請願第1号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書について	採択
議案第13号 平成25年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	発議第2号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書について	不採択
議案第14号 平成25年度上水道事業会計予算	可決	請願第1号 「日本軍『慰安婦』問題の1日も早い法的解決、謝罪と補償を求める意見書」提出に関する請願書について	不採択
議案第15号 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決	上坂君の議会行財政改革特別委員会委員の辞任について	許可
議案第16号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可決		

### 議案への賛否一覧

議席順に掲載（○賛成 ×反対 一欠席 □退席）※議長（伊藤博夫）は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井
議案第8号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
議案第9号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第13号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第20号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□	○
議案第22号	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	□	×	○
議案第25号	○	—	□	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年請願第1号	○	—	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
発議第2号	○	—	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×
請願第1号	×	—	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
委員の辞任	×	—	×	○	×	○	○	○	○	□	○	×	○	○	×	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等15件については全員賛成です。  
 ※議案の詳細は、上記定例議会議案をご覧ください。



永平寺町議会議長

伊藤 博夫

## 基本条例に基づき 議会運営を進めます

町民の皆様におかれましては、日頃より、議会活動・議会運営に関心をお持ちいただき心から感謝申し上げます。

特に、昨年8月1日から施行しました「議会基本条例」に基づき町民が議会に参画し、町民と議会が協働する町民の視点に立った議会の実現に取り組んでおり、3月定例議会においては、理事者に反問権を、また、議員間での自由討論による少数意見を出来るだけ取り入れ合意形成による議会運営に努力しているところであります。

今後、町民にわかりやすい議会にするために、「議会だより」に町民が関心を持つテーマを記載してまいりますので、各集落のふれあい会館や集落センター等で「議会と語ろう会」に参加していただき、皆さんの声をお聞きし、議会と共有し議論し合い、理事者に提案をまいります。

さらに本年度の取り組みと致しましては、ITを活用したシステムの最適化に取り組み「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」を進めます。

町民の誰もが議会のホームページやフェイスブックにより、町民への情報公開やご意見、ご要望が簡単に聴視、記載できるような周知し、町民総参加の「まちづくり」を願っております。

## 平成25年 第1回臨時議会報告

平成25年第1回永平寺町議会臨時会は、1月23日（水）に開催されました。審議された内容は、右のとおりです。議長 伊藤 博夫

### 第1回臨時議会議案

議案第1号 平成24年度永平寺町一般会計補正予算	可決
-----------------------------	----

## 平成25年 第2回臨時議会報告

平成25年第2回永平寺町議会臨時会は、2月4日（月）に開催されました。審議された内容は、右のとおりです。議長 伊藤 博夫

### 第2回臨時議会議案

議案第2号 永平寺温泉「禅の里」新築工事の請負契約締結	可決
--------------------------------	----

## 平成25年 第3回定例議会報告

平成25年第3回永平寺町議会定例会は、2月26日（火）～3月18日（月）まで21日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町教育委員会委員に、永平寺町轟 松倉勝秀氏、永平寺町東古市 宮崎義幸氏が任命同意されました。

また、人権擁護委員候補者として、永平寺町松岡芝原 朝倉昌紀氏の推薦に同意しました。

その他、議会行財政改革特別委員会の上坂久則議員の辞任を許可しました。議長 伊藤 博夫

# 議案への賛否討論

**議案第8号**  
平成25年度  
一般会計予算について

**反対討論** 金元 直栄

町民に必要な予算は認めるが、町の振興計画にもない事業が20もあつたり、学校給食無償化や松岡中学校第2体育館計画も定例会直前に示されるなど、議会軽視は一貫してただされていけない。消防庁舎、現在の計画は将来に禍根を残す。利用計画のない施設の耐震化計画も異常だ。工事発注も町内業者の経済対策が徹底されていない。高齢者福祉も多くが委託となつている点等々の理由で反対。

**賛成討論** 長谷川治人

予算決算常任委員会の中で、特に自由討議では述べ3日間（実28時間）をかけて十分論議を尽くし、意見書採択等を含め、議員各位には理解を得たものと認識する。

**反対討論** 上田 誠

今当初予算は住民生活に必要であり、基本的に反対するものでないが、  
一、給食無償化により、（教育費の保護者負担軽減に異論は

ないが）財政面、食の安全安心、他優先課題など。  
二、消防の再整備やサービス充実異論はないが、建設計画が永平寺支所の土地有効利用不備の面など。  
三、松岡中学校第2体育館整備は教育の均衡性や必要性の度合いなど。  
以上から認められない。

**賛成討論** 長岡千恵子  
給食の無償化について給食に関して『安心安全』を求めているのであれば、給食調理室の改善や食物アレルギー児への対応が優先と考える。付帯決議をつけ意見書添付した。  
松岡中学校第2体育館については武道が必須となり学校が必要であれば、国体のアツプ会場ということを除いても建設すべきと考える。

**反対討論** 松川 正樹

学校給食無償化に私の一般質問で出した17項目の疑問に満足する答弁はなかった。特に少子化対策や定住促進につながる具体策が示されなかったこと、その財源を消費税アップによる地方への還元分を当てにすることも不可解で、何よりも無償化は議会に

も教育委員会にも学校にもあまりにも唐突で、問答無用の体だ。住民も大変な疑問や不安を覚えている。

**議案第9号**  
平成25年度  
国民健康保険事業  
特別会計予算について

**反対討論** 金元 直栄

これまで町から、国保税の引き上げ抑制として2000万円の繰り入れがあつたが、これがなくなる影響や、今後の国保税の方向が示されていない。  
特定検診の受診点検を保健師に行わせていること。国の約5000万円の国庫支出の削減は許せない。

**賛成討論** 長岡千恵子

団塊世代が退職の時期から5年を迎え、国民健康保険への加入者が増加している。退職後の加入の為、国保税は減少している。  
増加傾向にある国民健康保険加入者に対応していくには、本予算が必要と考える。

**議案第10号**  
平成25年度  
後期高齢者医療  
特別会計予算について

**反対討論** 金元 直栄

高齢者の医療制度は、目まぐるしく変わつてきて、個人も自治体もその負担を負わされていく。  
国も差別的な医療制度であり、この制度は廃止するとしてきた。国はこの差別的な制度はなくし、その責任を果たすべきだ。

**賛成討論** 長岡千恵子

高齢化が進み、後期高齢者医療保険の加入者も増加している。医療費の個人負担1割を維持するためにも十分な手当てが必要と考える。

**議案第11号**  
平成25年度  
介護保険特別会計  
予算について

**反対討論** 金元 直栄

介護サービスは今や地域での生活に不可欠だ。一方、介護にかかわる不幸な事件は増えている。ところが、高齢者の実態を町が直接つかむ体制

はなく、高齢者や介護事業のほとんどを委託して、生活実態に合う対応ができていない。

**賛成討論** 長岡千恵子

介護事業は、永平寺町社会福祉協議会等に委託している。永平寺町社会福祉協議会において、施設介護から在宅介護への推進を行つていくが、実績に結び付いていないのが現状。65歳以上の介護人口も増加しているため、必要な予算と考える。

**議案第13号**  
平成25年度  
農業集落排水事業  
特別会計予算

**反対討論** 金元 直栄

上志比地区の利用料金を従量制にすることで、利用料金が一気に32%の引き上げとなつている。  
引き上げが一気となるのは問題だと指摘したが、町は聞く耳を持たなかつた。この引き上げは常識を疑うものだ。認められない。

**議案第20号**  
指定管理者の指定について

**反対討論** 金元 直栄

温泉の管理等、この業者に指定するのは、温泉の設計の段階から選定が変更されてきたりと、この業者に決まってきた過程に問題があつた。  
さらに本町の他の施設の管理にも絡むことから、この業者は認められない。

**議案第22号**  
指定管理者の指定について

**反対討論** 金元 直栄

このような仕事は、町内の業者に管理させるべきで、どうして要綱どおり町内業者に仕事をさせずに町外業者にするのか。理解できない。

**賛成討論** 多田 憲治

指定管理者との契約は、金額提示のもと利益が出る事ばかり討議されているが、町の検査もあり、永平寺温泉の指定管理と同じく損失した場合指定管理者が責任を持つて対応するもので、今回の議案について賛成とする。

**発議第2号**  
生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書について

**反対討論** 齋藤 則男

生活保護費の引き下げについて、20年近くものデフレ状態の間、生活保護費の見直しはほとんど行われてこなかった。不安定就労や非正規化が進み、働き盛りの若い世帯や母子世帯等、低所得世帯と比較した場合、生活保護世帯の生活費のほうが高いという現象が生じている。生活保護費の引き下げはやむをえないと思ふ。

**賛成討論** 上田 誠

生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの「健康で文化的な最低限度の生活」を脅かし、最低賃金や年金などの各種制度の切り下げにもつながる。また、先進諸国の中でも日本の生活保護利用率はとても低い状況である。ここに生活保護基準の引き下げをしないことを国に求める意見書に賛成する。

**反対討論** 上坂 久則

国民生活の現況から承服できかねるため反対。国民の生きる権利として生活の最低保証は必

**請願第1号**  
「日本軍慰安婦問題の「日も早い法的解決」謝罪と補償を求める意見書」提出に関する請願書について

**賛成討論** 金元 直栄

日本軍による「慰安婦」問題は、女性の人権や人間の尊厳を回復する課題であり、国連の人権委員会やILO等からも再三この問題の解決を促す勧告を受けている。  
本議会もぜひ、この主旨を採択し、国に意見書の提出を願う。

予算決算常任委員会審査報告

給食費無償化事業(8,800万円)、付帯決議を付けて

平成25年度当初予算 一般会計 84億2590万円

2月26日、当委員会に付託された平成24年度一般会計補正予算を、特別会計補正予算5件、平成25年度一般会計予算、特別会計予算、企業会計予算7件について、去る3月7日から15日の5日間にわたり審議しました。

その結果、下の付帯決議※1並びに意見書を提出しました。なお、委員会として全ての議案を可決しました。

※1「付帯決議」とは……議決された法案・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議。法的拘束力は有しない。

平成25年度永平寺町一般会計予算に対する付帯決議

- 1. 学校給食無償化事業は、将来の町財政に影響を及ぼすことが懸念されるため、毎年、この事業の財政への影響、効果、問題点等を検証し、町財政の将来にわたる健全化の維持に努めること。

平成25年度一般会計予算に対する意見書

平成25年度一般会計予算を審議した結果、次の事項を意見書として提出する。

- 1. 学校給食無償化事業について
1. 各学校給食施設の状態整備を回り、児童生徒に安全安心な給食を提供すること。
2. アレルギー児童への対応は、町がしっかりと責任をもってあたること。
3. 期間を決めて事業の検証を行うこと
4. 給食会計を私会計から公会計への移行を図ること。
5. 食材の購入については、一元仕入れ・一元支払いを図ること。
2. 永平寺支所、開発センター耐震化実施設計について
1. 永平寺支所、開発センター耐震化後の施設利用計画を早期に示すこと
2. 永平寺支所の敷地内及び周辺部も含め、土地利用計画を早急に示すこと。
3. 予算全般について
総合振興計画に記載されていない新規事業が多く、かつ、唐突に発表された。新規事業については、十分な審議期間を要するため、一日でも早く議会に説明を行うこと。

今後の予算執行にあたっては、上記の項目に充分留意してあたると共に、改善でき次第議会に報告すること。

詳細な審議の一部は下記の通りです。

24年度3月補正予算

福祉保健課

問 低所得者の定義とは。
答 住民税の非課税世帯を低所得者とする。

子育て支援課

問 幼児園の広域入所負担金の理由とその手続き方法は。
答 町外に住所のある子どもを預かる場合で、保護者の仕事の都合や永平寺町内の実家へ出産する場合である。手続きは、保護者は現住所の市町に相談、当該市町より本町に相談がある。保育料は現住所の市町へ支払、本町は国の基準により期間分を請求する。

25年度当初予算

企画財政課

問 給食費無償化で財政は給食費が増えると、経常収支比率が高くなる。財政は持つのか?
答 中期財政計画で、本町の平成23年度の経常収支比率は81.6%、平成25年度は81.5%、

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

平成33年度迄の財政計画を示せ!

問 算定替えの今後の見込みをデータで。
答 平成28年度迄は中期財政計画のとおり。平成29年度以降は、財政健全化は確保できるものと考えており、財政計画の推計をお示しする考えはない。

監理課

問 今から、消防庁舎の有効利用を検討すべき!
答 2階を事務所として、1階は公用車の駐車場として活用したい。
問 本庁耐震補強関連工事の内容は?

答 空調関係の更新と体の不自由な方のためにエレベーターを設置する。

税務課

問 コンビニ手数料60円/件を、窓口払いした納税者に還付できないか?
答 平成22年度より廃止となった全期前納報奨金制度とは異なり、納税額の大小にかかわらず、納税者が1件当たり60円の還付を望むか疑問に思う。

永平寺支所

問 支所2階の改修内容は?
答 支所2階のサーバー室前の空きスペースに1部屋(85㎡)を計画。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこに。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが

その対応はどうするのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

環境課

問 動物の死骸処理料が93万円計上されているが、高いのではないか。
答 道路上で交通事故等で死んだ動物の死骸を、業者に委託しているための処理料である。

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロボスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

問 安心カードは今までの調査とリンクできないのか。
答 安心カードに連絡先・薬持病等を記入したものを常備。対象者は一人暮らし

だけでなく日中一人にある世帯も含む。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのは、もっと大きくはないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

問 就学援助は要項をまとめて利用しやすいものにしてほしい。
答 町単独で要項を作成する。

生涯学習課

問 全てのプールの監視員は警備会社に委託するの

安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

農林課

問 そば・小麦は補助の対象か?
答 そば・小麦は出荷奨励金の対象。

問 松くい虫対策の成果は?
答 今回は調査の予算。駆除については今後検討していく。

問 学校給食に、地域の食材はどれくらい使用されているのか?
答 幼稚園では、目方で16% 松岡中学校の6月の調査では目方で31.4%。主にれんげ米とタマネギを使用。

問 アブラギリ開発試作委託料の内容は?
答 実を絞った油から石鹸とバイオディーゼルの試作。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は?
答 コンクリート舗装し、遊

水地として利用している。
問 河川公園指定管理。町内造園業者の育成をしてはどうか?
答 公募で決めていく。

問 松岡公園眺望テラス見直しはないか?
答 計画通り実施する。

商工観光課

問 吉峰キャンプ場今後の活用は?
答 吉峰寺、釣客、温泉などの観光資源と結びつけて考えていきたい。オートキャンプ場としての利用も考えていきたい。
問 こしの国ケーブルテレビ広域組合負担金の増は?
答 30年度以降のケーブルテレビ機器更新を考慮し25年度以降の元金に係る起債償還額6億1727万6千円を今後、平準化して負担する。

問 栃原から浄法寺山に向けての登山道看板の設置を。
答 現在、浄法寺地区への案内看板を設置している。栃原への設置は現場確認したい。

### 新型インフルエンザ等 対策本部条例化決定!!

総務常任委員会  
委員長 長谷川治人



レンガ館周辺の現状

本委員会に付託された案件は慎重審議の結果、次の通り。  
○「新型インフルエンザ等対策で」  
○議案第15号 永平寺町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザの発症に関して、町民の生命・健康保護等に及ぼす影響を最小限に食い止める為のもの。………全員で可決

○議案第21号 福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更

平成24年度から電子計算組織の共同処理業務が、福井市を除くあわら市、坂井市、永平寺町の3団体になり、組合議会の議員定数23人を20人とし、福井市の8人を5人とするもの。………全員で可決

○請願第1号 「日本軍「慰安婦」問題の一日も早い法的解決、謝罪と補償を求める意見書」提出に関する請願書

日本軍「慰安婦」問題について、日本政府において一日も早い法的解決を行い、国際的責務を果たすべきとの意見書。………多数で不採択

○その他  
①ご当地ナンバープレート事業の報告  
②永平寺口駅周辺整備事業の進捗状況の説明

### 地域密着型 介護施設の充実!

教育民生常任委員会  
委員長 長岡千恵子

当常任委員会は3月12日に開催され、本定例会の付託案件3件、継続審議1件を承認しました。  
☆永平寺町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

☆永平寺町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について

☆指定管理者（永平寺温泉 禅の里）の指定について  
☆生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書を求める請願書について

#### 勉強会の開催

1月21日、学校教育課長・調理員の出席を求め学校給食の実情について勉強会を開催しました。



学校給食について勉強会

2月14日、福井県社会保険推進協議会の出席を求め、生活保護の実態について勉強会を開催しました。

### 議論伯仲!! TPP

産業建設常任委員会  
委員長 川治 孝行

3月13日より付託された  
○永平寺町道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について

○永平寺町都市公園の設置基準等を定める条例の制定について

について審議し賛成全員で承認しました。  
○TPP交渉参加への断固阻止に関する要請について

安部首相が聖域について交渉していること、また農家のみでなく、多方面にわたり本町への影響を考察する問題でもあり、採決の結果継続審議となりました。その他、

○永平寺町内におけるえちぜん鉄道の通勤者に対する運賃補助の件について。

○永平寺口駅から本山へのバスのアクセスが悪い。

○松岡地区にて中部縦貫自動車道と416号の連絡線は設けるべきでは？  
等、意見・質問が出されました。

1月29日には  
産業建設常任委員会で吉田郡農業協同組合との懇談会をもち、永平寺町の農業について意見交換をしました。



吉田郡農業協同組合との懇談会

### 永平寺温泉「禅の里」 7月オープンを目指して!

温泉利活用特別委員会  
委員長 多田 憲治

当初25年4月オープンを目指し、永平寺温泉健康福祉施設の整備を進めてまいりました。しかし、昨年11月末建築請負業者の事業の行き詰まりが表面化し、工事が一時中断することとなりました。今年1月末、未完成部分の入札を執行し、福井市内の榊竹野組が落札し、現在6月末完成を目指して工事が急ピッチで進められています。

当委員会としても、早速、今日までの進捗状況、請負契約金額に関わる諸問題、また、運営を行う指定管理者の契約内容、今後の工程等を理事者に問いただし、3月定例会において指定管理者を福井市内に本社のある㈱コーワに決まりました。理事者からの、オープン時期についての明言は避けられましたが、町民に一日も早くご利用いただけるよう施設の完成を目指し進めていくことで委員会も了承しました。



建設がすすむ健康福祉施設

### 「議員定数を現在の18名 議員報酬を現状」に決定

議会行財政改革特別委員会  
委員長 川崎 直文



議員定数と議員報酬について、昨年9月より8回の委員会で検討・協議を行いました。

近隣市町の定数・議員1人当たりの人口・報酬、民意吸収・監視・政策立案の議会機能、議員活動日数、委員長手当・政務活動費等について、昨年の2回の「議会と語るついで」でのご意見を確認し、検討・協議しました。

第13回委員会（平成25年3月14日開催）で次のとおり決定しました。

- ・議員定数は現在の定数18名
- ・議員報酬は現状

委員長手当、政務活動費は導入しない  
来年度の7月の任期満了に伴う改選時に適用されず。

検討・協議、採決について本号の6ページに掲載しています。ご覧ください。

第13回の委員会に、町民4名の方が傍聴されました。ありがとうございました。  
(12ページに詳細記事)

### 消防執務室は 開発センターから 新庁舎へ計画変更!!

消防署統合推進特別委員会  
委員長 原田 武紀



新消防庁舎予定の開発センター

1月末の委員会で、①新庁舎建設予定の永平寺支所敷地の現地視察と②新庁舎車庫の上(当初案は吹抜)に2階を新設、指令センターと併設して執務室(当初案は開発センター2階)の設置検討の意見ができました。

①現地視察は2月4日の臨時会後に実施し、議員からは、町から示された「建物配置図」とはかなりイメージが違うという感想でした。

②の件については、2月19日の委員会で、新設庁舎の2階部分増設は、金額的に約5、6千万円の増になることが説明され、採決の結果、執務室は開発センター2階から新設庁舎の2階に移すことが決定されました。

今後は支所裏の駐車台数の増を含めたアクセス町道の整備が課題となります。

# そこが聞きたい! 問&答

## 一般質問

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。  
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。



上坂 久則 議員

### 問 永平寺温泉「禅の里」健康増進と町の活性化策

### 答 永平寺温泉は6月完成、道の駅 県許可

**問** 道の駅建設について県から正式な採択があったが、基本的な考え方については、建設課長 地域の振興施設の中長期的な方向性、機能と運営を含む多面的な検討のため、委員会を設立したい。

**町長** 永平寺町固有の特色を持つ情報発信機能、地域活性化に活用したい。

**問** 交通網の全体的な見直しを。総務課長 国の交通規制があるが、住民主体の運行になるように、国・県にも要請等の検討をする。

**問** 永平寺温泉「禅の里」を活かす施策として講座開設等の具体策は。健康施設室長 月一回の

**問** 救急車出動要請への基準はあるのか。消防長 現在はない。総務省からの「上手な使用」のマニュアル配布にに対応したい。

**問** 温泉の排熱利用の具体策は。町長 成分の高濃度や維持管理コストの観点から困難である。

**問** 地球環境を守る観点から、困難を理由にするだけでなく、積極的に調査・研究すべきだが。農林課長 様々な問題点や費用面も含めて今後、検討する。

**問** 紙面の都合上、農業振興策は割愛します。

**問** 定住化促進の支援策とは。町長 道路網整備、商工業・農業・観光の活性化、振興に力を注いできた。県下の注目の的の子育て支援、各分野の福祉向上に務めてきた。少子化対策として、給食費の無料化を導入し、定住促進への施策とする。



禅の里まちづくり講演会

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。

### 議会行財政改革特別委員会にて決定

## 議員定数は現在の18名 議員報酬は現状



議員定数と議員報酬について、議会基本条例に基づき8回の議会行財政改革特別委員会を開催し、検討・協議を重ねてきました。

- 委員会での検討、協議の内容は次のとおりです。
- ・永平寺町議会のこれまでの定数・報酬の変遷
  - ・近隣市町の状況
  - ・議会活動、議会機能、議員活動日数
  - ・政務活動費
  - ・平成24年5月、11月の「議会と語ろう会」でのご意見

平成25年3月14日の委員会にて再度、「議会と語ろう会」でのご意見を確認し、最終の検討・協議を行い各議員が意見を述べ、議員定数、議員報酬の採決を行いました。

**議員報酬** については、委員長手当、政務活動費も合わせて検討・協議し、意見は次のとおりです。

- ・議員定数が現在の定数18名であり、報酬は現状とする。また、委員長手当、政務活動費は導入しない。
- ・行政職員の給与は削減されている。議員報酬も削減すべき。
- ・委員長の職務、活動を考慮し手当を導入する。
- ・次回の改選から議員活動に必要な政務活動費を導入する。

以上の意見をふまえ、採決の結果、

- ・議員報酬……………現行のまま
- ・委員長手当……………無し（現在も無し）
- ・政務活動費……………無し（現在も無し）

に決定しました。

**議員定数** についての主な意見は次のとおりです。

#### ■現在の定数18名の意見

- ・二元代表制における監視機能を維持するには、現在の定数が適正である。
- ・「議会と語ろう会」で「地域によっては、過疎でさびれていくばかりである。町民の声を行政に反映させるには議員が必要である。の意見があった。民意吸収機能の維持において削減すべきでない。
- ・議員定数の削減について地域間の温度差が生じている。議員定数を削減するまでには至っていない。
- ・議員1人当たりの人口の指標を基準とし、他町との比較で現在の定数とする。
- ・活発な議会運営、常任委員会の機能を維持するには、現在の定数18名。

#### ■削減の意見

- ・議会改革に取り組み、議会自らも努力し削減すべき。
- ・地区の要望は、区長会、自治会等で吸収し、他地区との公平性のもと行政へ要望する仕組みとし、議員定数を削減する。
- ・「議会と語ろう会」等での民意吸収が進められている。削減できる。

以上の意見をふまえ、採決の結果、

- ・議員定数……………現行のまま18名

決定した議員定数18名は来年7月の任期満了に伴う改選時に適用されます。

### 議員定数・報酬等の採決一覧 (○賛成、－欠席、弔弔事)・議長(伊藤)、委員長(川崎)は採決に加わらず

		小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井	採決数
議員定数	現在の18名	弔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
	削減				○								○	○			4
議員報酬	現状		○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	11
	減額											○	○				2
委員長手当	導入せず		○	○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	11
	導入						○						○				2
政務活動費	導入せず		○	○	○	○	○	○	○		○				○	○	10
	導入											○	○	○			3

# 問 高校生の通学定期料金の町内統一化を！

## 答 定住も含め、どういう形で支援できるか考えていきたい



多田 憲治 議員

**問** 合併して7年が経過するが、児童・生徒数を見ても松岡・永平寺・上志比は地域差がある。高校生時代の通学定期購入は、誰もが大変な出費期間である。高校生が町の補助10%込みで福井市へ通う場合、えちぜん鉄道松岡駅と竹原駅では、月で換算すると4060円差がある。24年実績で松岡駅から福井駅の3ヶ月定期代2万9340円以

上の生徒分を全額補助すると、年間の総額は、**商工観光課長** 24年度で約667万円である。



山王駅からの通学の様子

**問** 児童、生徒数1700人の給食費は年間約8800万円。この金額は野菜等の賄い材料のみで、調理器具・光熱水費・調理員手当等献立にたずさわる予算は1億4500万円以上計上されている。自校給食での9個の鍋では経費がかかるのは一目瞭然。精査しなければ

**答** 現在は学校給食センターの建設は考えてない

# 問 食の安心で安全面から学校給食センター建設の考えは？

**問** この金額を補助して定期代を統一し、地域間の差を縮めることが合併の意義であり、真の子育て支援策、定住促進につながるのではないかと。町長 十分検討し、今後定住も含めどういう形でご支援できるか考えていきたい。



上志比給食センター内

の安心・安全の効果が出てくる。衛生的なドライシステム導入のもと、食中毒予防、アレルギー食対応、親子食育体験、また、災害時の配食の調理場を兼ねられる給食センターを近い将来建設する考えはないのか。  
**学校教育課長** 地産地消の推進や食物アレルギーの対応など、自校給食はメリットが大きい。

# 問 小中学校耐震Bランクに対する町の方針は!!

## 答 校舎等の大規模改修時にIS値の向上を図りたい



原田 武紀 議員

**IS値とは...** 建物の耐震性能を表す指標である。

- ①地震力に対する建物の強度
- ②地震力に対する建物の靱性(変形能力、粘り強さ)が大きいほど、この指標も大きくなる、すなわち耐震性能が高くなる。

**IS値の目安**(平成18年1月25日 国土交通省告示第184号による)

- Is<0.3 地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
- 0.3≤Is<0.6 地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
- 0.6≤Is 地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

文部科学省では、公立学校施設の耐震改修の補助要件として、地震時の児童生徒の安全性、被災直後の避難場所としての機能性を考慮し、補強後のIs値がおおむね0.7を超えることとしている。

県の耐震診断基準Bランク判定とそのIS値

・松岡小学校 南校舎 (0.47)	東棟 (0.66)	西棟 (0.52)
・吉野小学校 体育館 (0.68)	・御陵小学校 普通校舎 (0.50)	

**問** 本町の小中学校の耐震補強工事は、補強緊急度A(高い)のEとDランクは、平成22年度で完了、緊急度BのCランクも、1月補正予算で平成25年度中にはすべて完了する。

県が目標設定した耐震化率100%は達成するが、Bランク判定の校舎や体育館の中にも、「I学校教育課長 BランクでIS値が0.7より低い建物は、県の指導でIS値は基準に満たないが、耐震補強工場の必要はないと判断している。県は会計検査院の実地検査でも、この回答をしている。ただ、今後実施される校舎等の大規模改修時には、IS値が基準を満たすようにしていきたい。

S値」が低い建物がある。私は最低限、国交省の告示にある地震に対して倒壊する危険性が低いとされるIS値の目安0.6以上には改修すべきと考える。

# 問 その後の国道364号バイパス計画は!

## 答 県が、今年度予備設計を実施



長谷川治人 議員

**問** ①22年度後の整備計画はどうなっているか。  
**②**福井銀行永平寺支店から永平寺口駅方面を延長し機能補償道路に連結しては。消防庁舎(永平寺支所)との関連も含み。  
**③**国道364号線期成同盟会の活動の中に組み入れて整備促進を。  
**建設課長** ①県において永平寺東インターチェンジから



レンガ館から機能補償道路方面

ら国道364号バイパスに至る間の予備設計を実施中。この測量結果を参考にルート検討に入る。  
**②**県の調査結果をもとにえちぜん鉄道の踏切改良も含めて検討していく。  
**③**同盟会との関係もあるが、まずは県と十分検討する。

# 問 消防水利の確保は!

## 答 基準域にある

**問** ①当町の消火栓、防火水槽の数は。  
**②**消防水利の基準は満たしているか。  
**③**地震の際、防火水槽は大丈夫か。

# 問 長崎市グループホーム火災での緊急査察結果は!!

## 答 「りんごの木」査察では設備不備なし

**問** 2月初め、長崎市の認知症グループホームで、高齢者数人が死亡する火災事故が発生した。同事故では、過去にも自力での避難が難しい高齢者が犠牲になる悲劇が繰り返されている。本町では類似施設の緊急査察を実施したと思う

が、結果はどうだったのか。  
**消防長** 総務省消防庁の指示で、認知対応型老人共同生活援助事業施設の松岡松ヶ原の「グループホームりんごの木」の緊急査察を実施、結果はスプリンクラー等設備の不備はなく良好でした。

**④**今後の計画は。  
**消防長** ①消火栓1、310ヶ所、防火水槽40m<sup>2</sup>級233ヶ所、60m<sup>2</sup>級16ヶ所、80m<sup>2</sup>級2ヶ所、100m<sup>2</sup>級1ヶ所、合計252ヶ所。  
**②**本町における必要基準数は435で、公設消火

栓並びに40m<sup>2</sup>以上防火水槽合計432となり、ほぼ基準域に。  
**③**現在255の防火水槽の内、耐震構造は70ヶ所(全体の27%)。  
**④**老朽改善と併せ、必要箇所には設置していく。

その他、国・県の補助制度については、平成18年の三位一体改革により廃止され、交付税措置に改正された。



### 問 本町の「少子化対策」取り組みは？

**答** 今までの事業を検証し  
総合的施策を講じたい！



小畑 傳 議員

**問** これまでの「少子化対策」は、子育てに困っている人を助ける「子育て支援」の対症的な施策が主流である。しかしながら子供の増加には結びついていないのが現状だ。「少子化対策」とは本来、子供を持ち家庭を築くという人間の根っこ部分の対象と言われている。どうしたら良いのか真剣に考える必要があるのかと思うが。

**町長** 「少子化対策」はまちづくりの基本的な課題だと思っている。これまで宅地分譲、若者定住促進支援事業などにより若い世代の定住促進を行うなど「少子化対策」は総合的に取り組んできた。また、婚活のイベントなども行い町外からも来ている。ただ、なかなかつながらない難しいところもあり、県とも相談し工夫をしながら進めていきたい。

**問** 松江市では全小学校の屋外運動場の芝生化事業に取り組んでいる。これの着眼点は子供達の体的な観点ではなく手段であること

**答** 先進地を見て、今後検討していきたい！

### 問 小学校・幼稚園の外運動場の芝生化を



芝生の長畝小学校校庭

**とだ** 丸岡の長畝小学校でも砂塵防止の為に10年前から、芝生化に取り組んでいる。その外にも豪雨による土砂流出防止などの利点がある。まず屋外運動場の小さい幼稚園などでの取組みを提案したい。  
**子育て支援課長** 子供達の成長過程において、自然と体を動かせる環境を高めるなど、心身の発達には絶対欠かせないものだ。現在は土の園庭だが、芝生化により安全に運動や遊ぶことができ、ケガの予防が図れるよい点があるので、検討していきたい。

### 問 永平寺町内の地籍調査について

**答** 地籍調査の地区要望は  
何時でも受け付けます



川治 孝行 議員

**問** 谷口く花谷、光明寺区間は道路からの汚泥水が家屋連担区域内を流れ河川や用排水路改修問題が生じると思われる。今後の対応は。

**建設課長** 原則的には河川に排水計画をしている。特に中部縦貫自動車道路排水は一時的な豪雨に対応するため、流量調整池や油水分離槽を

**答** 28年開通に向けて  
努力している

### 問 中部縦貫道路の 進捗状況は

**答** 登記所及び法務局や

利用が推進できる。

**農林課長** 15年〜17年で4地区19haが登記が完了し、19年より3地区49haが現在継続調査中である。  
**問** 登記所及び法務局や

役場に土地の位置を示す公図や登記簿が設置されている、何故現在の書類ではだめなのか。  
**農林課長** 公図の多くが明治時代の地租改正時に作成したもので、土地の境界が不明確で不確定であるため、土地を明確化するものである。  
**問** 地籍調査は永平寺町の町づくりにとどのよう役立つのか。  
**農林課長** 土地の明確化により、私的所有権と公平で正確な税制の確立、災害復旧の迅速な対応、都市計画や公共事業の円滑化と町の計画的な土地利用が推進できる。

### 問 町の財政、将来は大丈夫か

**答** 行財政改革を積極的に進め、  
財源の確保、財政の維持を行う



齋藤 則男 議員

**問** 町には諮問委員会、協議会、数多くの委員会等があるが、委員の選任はどのように決定するのか。  
**総務課長** 委員会の設置目的・特殊性を町としては重視している。専門性が必要な場合は大学の教授等にも参画していただいている。意欲を持って

**答** 意欲を持つてる方が大事だと思う  
おられる方が大事だと思う。町ではそれを考慮し、いろんな団体からも推薦を受けている。上志比地区、永平寺地区、松岡地区の地域間のバランス、女性の参画や若い人の参画等、町では十分考慮し、委員についていただいている。

### 問 協議会等の委員の任免について

**答** 意欲を持つてる方が大事だと思う

**問** 町の将来は大丈夫か。子どもたちにツケを回すことにはならないのか。公共料金や税金が高くなるのでは。今後の長期にわたる財政の見通しは。  
**企画財政課長** 中期財政計画で事業に必要な財源を確保、健全な財政の維持ができるかと判断している。また、社会情勢の変化に伴う国の制度改正や政策転換等が予想され、正確な情報収集に努め、必要な歳入財源の確保を積極的に行っていくたい。

も含め方向性を示している。その中で人件費の削減、公債費の抑制及び経常経費、事務費等は、政策経費を含めた既存事業の見直しを図る等、行財政改革を積極的に進めることで、中長期的に財源の確保、健全な財政の維持ができるかと判断している。また、社会情勢の変化に伴う国の制度改正や政策転換等が予想され、正確な情報収集に努め、必要な歳入財源の確保を積極的に行っていくたい。

### 問 平成25年度の 教育方針は

**答** 心豊かで生きがいと  
活力のある社会を目指す

**問** 平成25年度の教育方針は。  
**教育長** 地域の豊かな自然、伝統ある歴史や文化の中で自信と誇りを持ち、心豊かで生きがいと活力のある社会を目指し、①ふるさとの自然や伝統を尊び、ふるさとを愛する人を育てる。②みずから学び、考え、行動

し、活力あるまちづくりを目指す人を育てる。③生命を尊び、命を尊び、思いやりの心を持つて社会に貢献できる人を育てる。④スポーツや体験活動に親しみ、心身ともに健康な人を育てる。⑤家庭や地域の教育力の充実を図り、ともに生きる社会を築く人を育てることである。



中部縦貫自動車道（勝山IC～大野IC） 開通式

**問** 谷口く花谷、光明寺区間は道路からの汚泥水が家屋連担区域内を流れ河川や用排水路改修問題が生じると思われる。今後の対応は。

**建設課長** 原則的には河川に排水計画をしている。特に中部縦貫自動車道路排水は一時的な豪雨に対応するため、流量調整池や油水分離槽を



長岡千恵子議員

### 問 学校給食を無償化にする 目的と効果は？

#### 答 安心安全で子育てしやすいまちづくりは 若者の定住促進につながる

**問** 給食費を無償化にする年間8800万円の経費が必要になる。平成33年には合併算定替えて、約8億円の交付金が減少する。将来的にこの金額をどのようにして確保するのか。

**企画財政課長** 人件費の削減、公債費の抑制及び経常経費、事務費等の政策的経費を含め、既存事業の見直しを図るなど積極的に推進し財源の確保、財政の維持ができるものと考えている。

**問** 給食を無償化にするよりも「食物アレルギー児への対応」や「夏になると40度以上になる給食調理室の改善」など優先すべき事業がある。町の見解や今後の対応は。

**学校教育課長** アレルギー



給食時間の様子

については校長会で話題となり、アレルギー対応の基本的な手順、疾患のある児童生徒への緊急的な対応について基準を作り、新年度から対処する。給食室の空調については調理器具等の修繕が優先しており、今後検討を進めてよりよい環境に努めていく。

**問** 給食室は食べ物を作る場所である。40度以上の場所で作られた給食が安心安全と言えるのか。食物アレルギーを持つ子どもの健全で丈夫な体を育むには代替食を提供する専門の調理師の配備や調理器具の整備、調理室の設備改善が不可欠である。定住促進について言えば給食の無償化より県外の大学に進学した場合の

### 問 国体に向け、準備室・準備委員会の設置が必要ではないか？

#### 答 遅くとも平成26年度中には準備委員会を設立し、 国体の開催に向け万全を期していきたい

**問** 平成30年開催の福井国体。永平寺町でソフト、ハンド、バスケットボール3種目が行われる。ハード面、ソフト面、どのような準備が必要になってくるか？

**生涯学習課長** 松岡中学校体育館では、アップ会場の整備や照明器具の増設、既設トイレや更衣室、シャワー室、部室を控室として改修。ふれあいセンターでは床面の補修。ソフトボール会場のゆめパークはグラウンド整地、臨時駐車場の整備。各会場には、仮設観

**問** 予算的に大きな金額になると予想できる。計画的に基金等を積み必要があるのでは？

**企画財政課長** 基金については、検討していく。



河合 永充 議員



岐阜国体仮設観覧席

#### 問 ふるさと創造プロジェクトをきっかけに、 若者連絡協議会の設立を

**答** 手順を踏み地域の活性化やまちづくりのためのやる気のある若者の組織化、連絡協議会の設立に向け努力したい

**問** 松岡織物会館周辺を 整備し、住民同士の交流

奨学金制度が返済金額に工夫をすることにより効果的と考えるが。

**教育長** アレルギー食や調理室の整備については財政面も考えながら改善していくべきと考える。

**学校教育課長** 奨学金制度は返済が滞っているという

う話も聞いている。給食の無償化は少子化や過疎化を食い止めるために各自治体が真剣に検討している。

### 問 可燃ごみ袋の大きさの見直しを

#### 答 早い時期に準備

**問** 現在、ごみ袋は「大」と「小」の2種類。「中」の新設はできないか。

**環境課長** 早い時期に「中」が店頭に並ぶように準備する。

### 問 老人福祉施設の 防火診断の1年間の回数は

#### 答 3ヶ所の消防査察は年1回実施している



酒井 要 議員

**問** 去る2月8日、長崎グループホーム火災をテレビで見て、大変悲壮感を感じた。4名の死亡者が出たが、体の不自由な方や身障者の方もいたと思う。火災はリコールが出ている加湿器が原因と報じられている。最近、80歳以上の方で身障者の手帳を受けている人が多くなっている。今は若年層は減って高齢者が手帳を交付されている。

**本町には3ヶ所の介護老人福祉施設があるが、年間何回査察を行っているのか。**

**消防長** 2月8日に発生した長崎グループホームの火災原因がリコール製品の加湿器の可能性が高いことから、管内福祉施設を調べ、該当する加湿器はないとの回答を得ている。3ヶ所の消防の査察は年1回実施しており、施設内に従事している

の方々の消防訓練は年2回。1回は夜間の想定、1回は昼の想定で、昼夜1回ずつ、消防法に基づいた訓練を実施している。また、夜間マニュアル等の検証をしている。消防設備等の点検報告は年1回に消防に提出されている。また、従業員の方々の訓練だけでなく、消防署員も火災を想定し、出火点を想定した訓練、屋内侵入、避難の誘導等の訓練も行っている。

**問** こついった施設で火災が出たら、当然犠牲者は出る可能性がある。職員に対する指導が1、2回でよいのか。火災を出さないことが大前提であり、消防署の役割は大変

**消防長** 基本的には、電池がおおむね7年と指導してい

る。特に一人暮らし、身体障害者、老々家庭での装着も年数が経っている。点検の必要性はあると思うが。

**消防長** 平成22年度に非課税世帯である65歳以上のひとり暮らしの世帯、老々世帯及び聴覚障害者の方を対象として発光型の光警報装置付き住宅火災警報器設置した。

**問** 設置をして何年ぐらい感知するのか。

**消防長** 基本的には、電池がおおむね7年と指導してい

**問** 住宅用火災警報器をつけている状況は。

**消防長** 管内で設置パーセントは94.7%。

**問** 防火診断の1年間の回数は

**答** 3ヶ所の消防査察は年1回実施している



川崎 直文 議員

### 問 永平寺町地域防災計画の広域応援体制の整備、橋梁等の整備、事業継続計画の策定について

答 他市町との応援協定・町の業務継続計画は今後取り組む、橋梁等の整備は進めている

備対象の橋梁の浄法寺橋は、町の「橋梁長寿命化修繕計画」で取り組んでいるが、鳴鹿橋は、建設課長 鳴鹿橋については、県が橋梁の点検、修繕を行っている。

問 雪害・大規模事故・原子力災害対策を取り入れ、永平寺町地域防災計画が今年度中に見直しされる。広域応援体制の整備は。 答 総務課長 「福井県・市町村災害時相互応援協定」を締結している。他市町との応援協定、災害協定は、今後検討する。

### 問 防災計画の概要版、防災ガイドブック、各種マニュアル、ハザードマップの作成は

答 概要版、防災ガイドブックは新年度に作成し、原子力災害のハザードマップを新たに作成する。 問 概要版、防災ガイドブック、各種マニュアルの作成は。 答 概要版、防災ガイドブックは新年度に作成し、原子力災害のハザードマップを新たに作成する。

原子力災害のハザードマップを作成するの。 総務課長 土砂災害、地震、洪水のハザードマップは、作成に関する基準等に変更があった場合、避難所・避難路の変更の場合に見直す。原子力災害のハザードマップは、



### 問 学校給食無償化は本当に必要か？これだけ疑問があるが！

答 学校給食の不備な点は一つずつ整備していきます



松川 正樹 議員

問 ①町の借金がまだ146億円もある。財政がとてもし心配だ。②無償化に年間8800万円とされている。食材のみの計算で、その他の費用を合わせれば年間2億4000万円と聞いた。金額が大きすぎる。③保護者は今の給食に感謝も満足もしている。強い要望があったのか。④議会や教育委員会、学校にもよく相談されている。⑤学校給食



学校給食

の現場の改善が先だ。⑥少子化対策や定住促進にどうつなげていくか見えない。⑦全国に定住促進の成功例があるのか。⑧町外の小中学校へ通う子は対象外のことだが再考すべきだ。⑨子育てに本にお金がかかるのか。⑩一定の助成額から始めたかどうか。⑪学校の要望は他にもあると聞いているか？

学校教育課長 ②保護者の負担額が年間8800万円だということだ。③確かに親からの要望はない。④教育委員会と学校にはよく相談して理解いただいている。⑤現場の不備な点は、今後とも設備面でも人員配置の面でも一つずつ整備していく。⑦無償化は全国で何例もある。⑧また検討する。⑨一般論として必

### 問 松岡中学校の体育館



渡邊 善春 議員

建設は武道場と聞いていたが、中学校と町民が利用できるだけの大きさとなるのか。

### 問 松岡中学校第2体育館について

答 武道場新設には面積要件があり、町民体育館とするには、他事業の模索が必要

### 問 道の駅計画について

答 道の駅が計画されている中、私は観光の広域化に対する拠点づくりと地域の活性化を目的に、交流の場の促進によるにぎわいを創出するための場となるよう期待しているが、どのような構想か。 建設課長 この道の駅は本町と県が計画している。永平寺温泉「禅の里」に隣

### 問 町営住宅跡地について

答 周辺環境に合わせ利用方法や整備計画を検討する 問 現在、町営住宅跡地は何か。 建設課長 たいま県営住宅跡地として2ヶ所、町営住宅跡地として清水団地、

石舟団地、神明団地となっている。神明団地については、北陸農政局が平成26年度の事業において仮排水用行うことから、行政財産目的外の使用を許可している。

が、神明地区の活性化のためにも宅地開発を願うところである。町はどのように考えているのか。 監理課長 現在この団地については、芝原用水に接続している。芝原用水は九頭竜川下流農業水利事務所によってパイプライン化が進められていて、この水路は平成25年度末に完了する予定で、今後計画されるパイプラインの上部利用計画である道路整備について、平成26年度末工事完了となる。この後に周辺環境に合わせ利用方法や整備計画を検討することを考えている。

### 問 危ないインフラを放置するな！ 東古市の開発センターはあと40年もつというが…

答 コンクリートは建設当初の強度がある

問 専門家はコンクリートの寿命は50年から60年と言います。開発センターはいま42歳ですが、あと40年も持つという。誰が言ったのですか。 監理課長 建築建設事務所によると、開発センタ



上田 誠 議員

対策は!!  
商工観光課長 観光まちづくり計画の策定、東京駅等で大型映像によるPR放映、観光情報誌「まっふる北陸金沢版」に掲載し、当町の魅力を伝える。

### 観光地拠点づくりの推進で永平寺町の魅力向上を!!

観光まちづくり計画の策定と観光PR映像・観光情報への掲載などで

問 県の「観光まちなみ魅力アップ事業」に永平寺町門前が掲げられている。北陸新幹線舞鶴若狭道・中部縦貫道の開通も控え、今までのハード面からソフト面、情報発信PRが重要になっているがその

健康づくりポイントカード事業の推進で

問 町民の健康づくりについては、一般質問で健康体操とそれのケーブルTV放映、DVDでの推進策、またポイントカード制による後押しを提案させてもらった。今回企画事業内容は?

答 ポイントカード事業の推進で点数に応じて景品を贈呈する企画である。

### 給食費の無償化は義務教育費無償化への一歩か!

義務教育費無償化の一環とは考えていない

問 2月中旬、何の前触れもなく給食費の無償化が提案された。この件は憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」とあるがこの一環なのか。父母負担が当然という意識が根強い中で、本町が無償化へ歩踏み出したことは高く評価する。課題もある、長く続くのか不安だし、無償化の根拠と目標を示すべきだ。



給食調理



金元 直栄 議員

に給食は、小中学校と全ての児童生徒にかかわることから、無償化を進めたい。少子化を補う施策や、若い人の定住に思っている。義務教育費の無償化の一端とは考えていないが、長く続けたい。

### 「道の駅」は永平寺温泉の維持管理費の増額になるのでは!!

問 「道の駅」整備が示されたが、県と町の役割分担は?

答 あくまで別々の維持管理費と考えている。整備と維持管理費になる。

問 上志比地区既存の商店や町内の地産地消販売グループへの影響が懸念されている。また中部縦貫道の開通で交通量の減少

や利用者の変化になるが。建設課長 類似施設との関連は十分協議していく。中部縦貫道利用客も来ると考える。

### 「道の駅」は大丈夫なのか

問 30年開催の国体で、バスケットボール、ハンドボール、ソフトボールを受け入れるのは、費用も人的支援もたくさん必要となる。なぜ小さい町が3つも受け入れるのか。

町長 全国各地から来ていただくことで、観光や商工の活性化にもつなげていきたい。

### 町兼業禁止及び政治倫理条例はご存じか!

問 町民から「議員や町幹部の縁者が町職員に採用されている」「俺に頼めば町の入札に入りやるといふ議員がいる」などの声が寄せられている。政治倫理審査会を

開き、問題がないか検討すべきた。総務課長 私の耳にはまだ入っていない。審査会は問題のあったときに開催するものと受け止めている。

### 土地と施設、利用計画のない進め方は後世へ課題の先送りだ!

問 各種事業を進めるにあたり、後世に負担や課題を先送りするな。永平寺支所周辺は今の消防庁舎建設計画で、古い開発センターを利用する

答 土地利用を考えての消防庁舎計画としている。将来の利用計画も示されていない施設の耐震計画や周辺施設の工事に入ることは、土地利用上、大問題だ。支所周辺の使い勝手が

### 学校給食無償化事業の効果と実施方法は

現状維持のため息の長い施策に



滝波 登喜男 議員

問 年間8800万円もの事業であるから、期待できる効果と、そのための実施方法、課題等について具体的に示せ。

副町長 少子化対策、子育て支援の一環で、直ちに効果測定できるものではない。世界的な人口減少時代、県内では鯖江市のみが人口が増えている。本町は微減だが、現状を維持するために息の長い施策としていきたい。

### 松岡中学校第二体育館(武道館)の必要性は

問 松中第二体育館の必要性は。国体のバスケット競技受け入れのためなのか。

学校教育課長 平成24年度から柔道の授業が始まり、期間中、部活動に支障があるため、その改善策として建設する。

### 「道の駅」は大丈夫なのか

問 中部縦貫道が開通することで416号の交通量が減少し、「道の駅」の利用者も減る。集客できる秘策はあるのか。

建設課長 上志比北インターから近くにあるので、中部縦貫道利用者の休憩施設としても利用可能である。観光案内や特産品販売拠点として、本町の特色を生かしたものにしたい。

### 大気汚染PM2.5の影響と対策は

問 PM2.5の本町への影響、対策。特に子どもたちが通う学校は、日中窓を開けて勉強している。その対策をどう考えているのか。

環境課長 県では観測地を6ヶ所に増設し、基準値を超えたとき、速やかに市町に対応の連絡を行う。町ではその指示に基づき対応する。

生涯学習課長 仮設スタンドを設ける費用が一番かかる。人的支援は住民の皆様のご協力をいただき、民泊や花いっぱい運動などを行っていききたい。

学校教育課長 子どもたちへの対策はどういったものか、十分調査研究する。



# 浄法寺山岳観光協会

会長の大谷 進さん(67歳 上浄法寺)にお伺いしました。

会の歴史は昭和33年にさかのぼります。初代代表 関谷武夫氏(当時は福井市在住 昭和48年没)を中心に、山を愛する人たち数人が集まり、調査をしながら登山道の整備開拓に取り組むと同時に、名称の決定などを行ってきました。登山コースの1つ「つつじヶ原」コースは「関谷山道」と名付けられています。その後の中心メンバーは地元の山下均さんや西村嘉一さんらがあげられます。

会員は現在34名で、毎年4月の山開きや、春、夏、秋チェーンソーや草刈機片手に登山道の維持と確保に尽力されています。

浄法寺山の名前の由来は、平安時代に現在の上浄法寺に天谷山真言院浄法寺が建立されていたことにまでさかのぼります。その他「浄めの滝」「仏岩」「八人壁」など、落ち武者にまつわるものがいくつも言い伝えられていて、登山家と同時に歴史好きな方々をも魅了します。また現代版としては、ご当地ソング浄法寺山紅葉音頭があります。「♪♪紅葉娘が紅葉めまねく ここは天下の浄法寺山よ♪♪」で始まるこの歌は、地元栃原の方が

作詞作曲されました。今でもイベントの時に皆さんと一緒に唄ったり踊ったりしているということで本当に楽しそうです。また未来版としては、浄法寺山に関するDVDの制作も検討中です。高齢などで登りたくても登れなくなった愛好家の方々に楽しんでもらうということですが、一般の方にもPR拡大されそうで、乞うご期待です。



大谷会長だけでなく、地元の会員さんたちがここまでの熱心な活動に気持ちが突き動かされるのは、やはり偉大な先人が残してきたものを途中で投げ出すわけにはいかない、正直言ってつらいけど、たくさんの人に支えてもらいながら、とにかく後継者に伝えていきたいという思いからだそうです。

大谷会長は長らく地元消防署に勤めていた方で、今は他にもいろいろと活動されています。従ってどこにでも見つけられます。(神出鬼没?)どうか気軽に声をかけて、後継者の一人に立候補していただけると何よりです。輪が永平寺町全体に広がりますように!

(記 松川)



**4月20日(土) 山開き**

## 編集者のひと言

今年度一回目の「議会と語ろう会」を4月24日(水)〜26日(金)に開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

今回の「議会と語ろう会」で取り上げるテーマを、この第30号「議会だより」の2・3ページに特集記事として掲載しました。

今回のテーマは

「子育てと学校給食」

「まちを育てる道路整備」

です。特集記事をお読みいただき、皆様のご意見・ご提案をお聞かせください。

「議会と語ろう会」でいただいたご意見・ご提案、回答は、次の第31号「議会だより」でダイジェスト版として掲載します。

このように、「議会と語ろう会」と関連させ「議会だより」の編集、発行を行っています。

更に、つながらる「議会だより」に取り組んでいきます。

(川崎 記)

### 議会広報特別委員会委員

委員長 波邊 善春  
 副委員長 松川 正樹

### 発行責任者

小畑 博・長岡千恵子  
 川崎 直文・河合 永充  
 議長 伊藤 博夫